

# 安全データシート

整理番号 : CM-M-41-1

## 1. 化学品及び会社情報

情報提供者	: 会社	タキロンシーアイ株式会社
	: 住所	〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
	: 担当部門	安富工場 床技術グループ
	: 電話	0790-66-2285
	: ファックス	0790-66-2378
作成日	: 2017年4月1日	
改訂日	:	

---

製品名	: カラーマスター
-----	-----------

---

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2B

発がん性: 区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

眼刺激

発がんのおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :

混合物

成分名:フタル酸ジイソノニル

含有量(%):30 - 70

化審法番号:3-1307

CAS No.:28553-12-0

成分名:二酸化チタン

含有量(%):0 - 60

化審法番号:1-558

CAS No.:13463-67-7

成分名:銅フタロシアニングリーン

含有量(%):0 - 30

化審法番号:5-3315

CAS No.:1328-53-6

成分名:銅フタロシアニンブルー

含有量(%):0 - 30

化審法番号:5-3299

CAS No.:147-14-8

成分名:C.I. ピグメントイエロー 83

含有量(%):0 - 20

化審法番号:5-3169

CAS No.:5567-15-7

成分名:イソインドリノン系顔料

含有量(%):0 - 20

化審法番号:5-3185

CAS No.:5590-18-1

成分名:ポリアゾ系顔料

含有量(%):0 - 20

CAS No.:79953-85-8

成分名:ジケトピロロピロール系顔料

含有量(%):0 - 20

化審法番号:5-5896

CAS No.:84632-65-5

成分名:水酸化鉄(III)

含有量(%):0 - 20

CAS No.:20344-49-4

成分名:カーボンブラック

含有量(%):0 - 10

CAS No.:1333-86-4

成分名:炭酸カルシウム

含有量(%):0 - 10

化審法番号:1-122

CAS No.:471-34-1

成分名:酸化第二鉄

含有量(%):0 - 10

化審法番号:1-357

CAS No.:1309-37-1

成分名:群青

含有量(%):0 - 10

化審法番号:1-22;5-3310

CAS No.:57455-37-5

成分名:キナクリドン系顔料

含有量(%):0 - 10

化審法番号:5-1167

CAS No.:1047-16-1

成分名:キナクリドン系顔料

含有量(%):0 - 10

化審法番号:5-1168

CAS No.:980-26-7

成分名:添加剤

含有量(%):0 - 2

化審法番号:非公開

CAS No.:非公開

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

二酸化チタン，銅フタロシアニングリーン，銅フタロシアニンブルー，水酸化鉄(III)

カーボンブラック，酸化第二鉄

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

二酸化チタン，銅フタロシアニングリーン，銅フタロシアニンブルー，水酸化鉄(III)

カーボンブラック，酸化第二鉄

化管法「指定化学物質」該当成分なし

## 4. 応急措置

### 応急措置の記述

#### 一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

水と石鹼で洗う。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗う。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

周辺設備に適した消火剤を使用する。

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

消火作業は、離れた風上から行う。

消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流失しないよう適切な措置を行う。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

### 消火を行う者の保護

消火作業従事者は、適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。  
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

#### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で困ってのち処理する。

#### 二次災害の防止策

付近の着火源となるものを取り除く。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

適切な保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)

静電気に対する予防措置を講ずる。

#### 安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

### 配合禁忌等、安全な保管条件

#### 適切な保管条件

施錠して保管すること。

乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

#### 避けるべき保管条件

熱源から離して保管する。

直射日光を避けて保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

管理濃度データなし

#### 許容濃度

(二酸化チタン)

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>

(酸化第二鉄)

ACGIH(2005) TWA: 5mg/m<sup>3</sup>(R) (じん肺)

(カーボンブラック)

ACGIH(2010) TWA: 3mg/m<sup>3</sup>(I) (気管支炎)

(二酸化チタン)

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)

### ばく露防止

#### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

適切な呼吸用保護具を着用する。

##### 手の保護具

適切な保護手袋を着用する。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

#### 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

休憩、終業時は手を洗う。

休憩、終業時はうがいする。

### 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

#### 物理的状态

形状：液体(ペースト状)

臭いデータなし

pHデータなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：403°C

融点/凝固点：-45°C

分解温度データなし

引火点：235°C

自然発火温度データなし

### 10. 安定性及び反応性

#### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

### 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

#### 局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化第二鉄)

ヒト 中等度の刺激性 (ICSC(J), 2004 et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化第二鉄)

ヒト 腐食性 (IUCLID, 2000)

(二酸化チタン)

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

#### 発がん性

[日本公表根拠データ]

(カーボンブラック)

IARC (93, 2010) Gr.2B et al

(二酸化チタン)

IARC (Monograph Vol.93, in preparation) 粒径10-50nm Gr.2B

(酸化第二鉄)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(カーボンブラック)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(二酸化チタン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(カーボンブラック)

ACGIH-A3(2010)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(酸化第二鉄)

ACGIH-A4(2005)：ヒト発がん性因子として分類できない

(二酸化チタン)

ACGIH-A4(1992)：ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(酸化第二鉄) 気道刺激性 (ICSC(J), 2004; IUCLID, 2000)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(カーボンブラック) 呼吸器 (SIDS, 2007)

(酸化第二鉄) 呼吸器系 (ACGIH, 2001)

吸引性呼吸器有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(カーボンブラック)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 > 5600mg/L/24hr (SIDS, 2007)

水溶解度

(酸化第二鉄)

溶けない (ICSC, 2004)

(カーボンブラック)

溶けない (ICSC, 2010)

(二酸化チタン)

溶けない (HSDB, 2004)

(銅フタロシアニンブルー)

溶けない (ICSC, 2006)

(フタル酸ジイソノニル)

< 0.01 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2004)

(炭酸カルシウム)

非常に溶けにくい (14 mg/l, 25 C) (ICSC, 2012)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(フタル酸ジイソノニル)

log Pow=8.8 (ICSC, 2004)

(銅フタロシアニンブルー)

log Pow=6.6 (calc.) (ICSC, 2006)

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

分類基準に該当しない。

特別の安全対策

直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

カーボンブラック; ニ酸化チタン; 酸化第二鉄; 水酸化鉄(III); 銅フタロシアニングリーン

銅フタロシアニンブルー

名称通知危険/有害物

カーボンブラック; ニ酸化チタン; 酸化第二鉄; 水酸化鉄(III); 銅フタロシアニングリーン

銅フタロシアニンブルー

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

指定可燃物可燃性固体類

## 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2016 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。